

目黒区の元気！

目黒区議会議員

かなこ元気NEWS

vol.11



令和元年11月発行 発行:152-0011 目黒区原町1-12-2-201 電話03(6303)2628 FAX03(6303)2632 発行人:目黒区議会議員小林かなこ

こんにちは。目黒区議会議員の小林かなこです！区議会議員2期目を迎え、今期は、企画総務委員会と目黒区総合戦略等調査特別委員会に所属すると共に、初めて決算特別委員会の副委員長に任命されました。

9月の定例会では一般質問を行い、西小山にこま通り商店街の無電柱化、家庭福祉員制度の充実・PR強化、区立小中学校のICT化の加速について取り上げ、課題解決に向けて多くの提案をさせて頂きました。

また、この夏には区内の高校生インターンの受け入れを行い、区内の無電柱化促進について、現場視察や、東京ビッグサイトで開催された無電柱化推進展に出向き、一緒に考えてもらいました。

今回は、これらの内容をご報告させて頂きます。これからも、現場で何が必要とされているのか、まっすぐ声を区政に届け、形にして参ります。



令和元年度第3回定例会 一般質問



にこま通り商店街は、道幅が狭く、多くの区民が通勤・通学に利用するだけでなく、近隣保育園の園児も利用しています。今般、原町1丁目7番・8番地区の防災街区整備事業により、令和5年度末までに、にこま通り商店街の一部が無電柱化されることになりました。しかし、災害時の安全安心の確保と、商店街全体の賑わい創出の観点からも、この事業と同調してにこま通り商店街全体を無電柱化すべきであると考え、具体的に以下の3点を質問・提案しました。

- ①防災・景観の観点からにこま通り商店街全体を無電柱化すべき
- ②トランスポックスの設置場所確保が困難な場合にはソフト無電柱化*を採用すべき
- ③住民と行政で先行事例の視察などを実施して住民の理解・協力を得ていくようにすべき

*戸越銀座商店街などで採用されている、街路灯と一体型の柱上型変圧器を用いた無電柱化方式

- ③住民と行政で先行事例の視察などを実施して住民の理解・協力を得ていくようにすべき

区長からは、下記の前向きな答弁がありました。引き続き、政策の実現に向けてしっかりと取り組んで参ります。

- ①にこま通りの残りの部分については現在無電柱化の予定はないが、原町1丁目7番・8番地区周辺の木密地域など狭隘な道路における取組みやコスト縮減など、本区の特性を踏まえた検討を行っていく。
- ②区道の幅が4.8mと狭い目黒区では、ご指摘のソフト無電柱化は今後の検討に値する。現在策定の目黒区無電柱化推進計画において、ソフト無電柱化についてどのように位置付けるか検討していく。
- ③地域の方のご理解は絶対不可欠。一緒に視察などして意識と情報の共有を図っていくことはスムーズな無電柱化にとって大事なので、この位置づけについても推進計画で検討していく。



商店街を見上げると…

家庭福祉員(保育ママ)制度については、3月の予算特別委員会に引き続き取り上げ、今回は保育ママさんの**65歳定年を70歳へ延長することと、更なるPR充実の必要性を訴えました。**

区長からは、保育ママさんは今後の区の保育の質の向上を図るためにも重要であり、定年延長について前向きに考えていきたい、効果的な周知方法について検討し適切に支援していきたいとの答弁がありました。

引き続き、目黒区の保育の質の確保に努めて参ります。



目黒区立の小中学校のICT化は他区に比べ大変遅れており(かなこ元気NEWS 9号参照)、これまで何度も議会で取り上げて来ましたが、**予算・人材確保が伴う大きな事業のため、教育委員会側の対応だけでは中々進展していない状況です。**

今回は、地方教育行政法で設置が義務付けられ、首長に出席義務を課した総合教育会議の場で、文部科学省がICT環境整備のための予算確保の共通理解を図るべきと求めていることを紹介し、**教育予算権限を持つ区長も出席する「目黒区総合教育会議」**の場で、**ICT化を加速するための議論を始めるよう求めました。**



教育長からは、区長部局との密接な連携は不可欠であり、総合教育会議を含め様々な会議体の中で最も効果的・効率的な会議体で、区長部局との積極的・活発な議論・意見交換を通して、新しい時代の学校教育の環境整備を進めて行くとの答弁がありました。引き続き、予算権限を持つ区長や区長部局と教育委員会が一丸となって、目黒区立小中学校のICT化を加速するよう働きかけて参ります。

かなコラム

高校生インターンシップ & 都内無電柱化視察！



高校生インターンのS君に今回の体験記を書いて頂きました。
鋭い考察です！是非お読み下さい。

「どのようにすれば短期間で着実に無電柱化をすることができるのだろうか。まず、トランスの置き場所から考える。トランスを道路上に置くと邪魔になるので、街灯の上に変圧器を設けるソフト無電柱化。戸越銀座商店街を視察した時にこの方式を見たが、景観上問題はなさそうだ。また変圧器を地上から高いところに設けることで、水害を防ぐことができる。



戸越銀座商店街

次に、電線共同溝の工事の点から考える。どのように工事を効率化できるか。この課題を解決するには、自動掘削機や地中で曲がる共同溝など、最新技術の実用化を進めて市場価格を下げ、かつ手間を減らして人件費を抑制する必要があると思う。

最後に、無電柱化に伴う道路の拡幅が課題としてあげられる。緊急車両が円滑に通行するには道幅4m程度必要だ。そのため道の両側に最小限にセットバックをお願いしなければならない。また、木密地域では建物の共同化を進めれば、むしろ賃料収入で住人が得をするかもしれない。

無電柱化はコスト面や工事の手間などからまだ改善の余地が見られる。また世間にはあまり無電柱化が知れ渡っていないため、予算も出にくい。しかし、無電柱化は災害対策や街づくりにおいて重要な政策だから、災害時に被害が大きくなりやすい地域を中心に整備を進めるべきだと思う。」(S君記)

About Kanako

<公式HP>

「[目黒区の元気](#)」で検索！
FBもインスタも見られます！



<フェイスブック>

日々の活動は[こちら](#)で！



<インスタグラム>

「[小林かなこインスタグラム](#)」で検索すればPCでも見られます！

